

第14回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会

日時 令和5年12月11日（月）

場所 Web開催

○事務局（長嶺） それでは、定刻となりましたので、会議を開始させていただきたいと思いをします。

今からYouTubeの配信を開始いたします。それでは、配信をお願いいたします。

これより山本委員長に進行をお願いいたします。山本先生、よろしくをお願いいたします。

○山本委員長 定刻を少し過ぎましたけれども、ただいまから、第14回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、御多忙の折、御参加いただき、ありがとうございます。

最初に、委員の出欠状況について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（長嶺） 老健局老人保健課の長嶺でございます。本日は御参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は辻委員が欠席となります。

開催要件を満たしていることを御報告いたします。

本日は公開の議題がございまして、YouTube上でライブ配信を行っております。申出の個別審査は非公開の議題となりますので、審査の前にYouTubeのライブ配信を終了いたします。あらかじめ御了承願います。

本会議はアーカイブ配信をいたしませんので、会議開催時間帯のみ視聴可能となっております。

議事録作成のため、事務局にて録画をさせていただきますので、御了承をお願いいたします。議事録作成後に録画ファイルは消去いたします。

なお、YouTube配信を御視聴の方におかれましては、配信画面あるいは内容を許可なくほかのウェブサイトや著作物等へ転載することが禁止されておりますので、御留意いただきますようお願いいたします。

それでは、記録をお願いいたします。

○事務局（長嶺） 続きまして、資料の確認をいたします。議事次第のファイルをお開きください。

本日の議事と資料一覧が記載されております。資料はお手元にご覧いただけますでしょうか。ありがとうございます。

本日の資料を画面表示して御説明いたしますが、適宜事務局から送付しております資料もお手元で御参照いただければと存じます。

御不明な点等ございましたら、会議のチャットにお書きいただくか、御発言いただければと存じます。御不明な点はございませんでしょうか。

よろしければ、山本委員長に進行をお渡しさせていただきます。山本委員長、よろしく願いいたします。

○山本委員長 それでは、早速、本日の議事に入らせていただきます。

議事次第に従いまして、議題1「第3回介護DBオープンデータについて（案）」を行います。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（長嶺） 事務局でございます。

それでは、資料1「第3回介護DBオープンデータについて（案）」を御覧ください。

2ページ目をお開きください。今年、介護DBの第2回のオープンデータを先生方に御議論いただいた上で、オープンしていく準備を進めているところでございます。また第3回のオープンデータを準備していくに当たりまして、今までいただきました御意見から今回どこを反映させていただくかという資料を作成しております。これについてまた御意見をいただきまして、その準備をして、第3回に向けて準備をしたいと思っております。

3ページ目をご覧ください。本専門委員会では、オープンデータとして公表する集計表の内容・形式を御確認いただいております。第3回オープンデータの方針としましては、これまでのオープンデータに対しまして、新しい時点、2017年度と2022年度を追加する予定でございます。第3回がオープンされた後には、2017年度から2022年度の介護DBの内容が通して御覧いただけるようになるかと思っております。加えて、LIFE情報の集計表は2022年度分を追加することを予定しております。1ポツにつきましては、要介護認定情報について2017年度と2022年度を追加するという意図で書き添えております。3ポツですが、要介護度の変化について、前向きな集計をしてほしいということでこれまでも御要望いただいておりますので、そこについて追加をする予定でございます。4ポツにつきましては、LIFE情報の都道府県別の集計も追加してほしいという御要望をいただいておりますので、対応させていただきたいと考えている次第です。

4 ページ目をご覧ください。先ほど御紹介さしあげましたとおり、この表の左側、匿名要介護認定情報につきましては、対象期間2017年度と2022年度を追加いたしますという内容になっております。公表項目の2018～2021年度と項目としては同じでございますが、下の集計事項について下線を引いている部分が追加、今回新規で対応したいと考えているところになります。「要介護度の変化に関する前向き集計」ということで、2017年度をベースラインとした場合の5年後の要介護度の変化と考えております。この部分、人によってどのような集計がいいか少しイメージが異なるかと思しますので、本日もし御意見がいただけるようでありましたら、こういった集計のほうがよいのではないかという御意見をいただければ大変助かります。

右側、匿名LIFE情報についてですけれども、対象期間は2022年度を追加させていただきます。公表項目としましては、2021年度の分を第2回で公表させていただきますが、その部分については同様となります。集計事項につきまして、先ほど申し上げたとおり、下線を引いたところで「都道府県別の集計」を新規として追加させていただきたいと考えております。

5 ページ目をご覧ください。こちらが公表形式になっておりまして、今し方お見せしました左側の匿名要介護認定情報の部分になります。一番下の赤く囲ったところが新しい部分として検討しているところになります。今回の申請区分から5年後の二次判定結果をつなげて集計をしてみようということを考えております。

6 ページ目をご覧ください。公表形式としましては、クロス表の形で2017年度をベースラインとして表側に置きまして、表頭で5年後の要介護度をお示しする予定でございます。

7 ページ目をご覧ください。次はLIFEになりますが、一番右側の「表7」と書いてある都道府県別のところにつきまして、これまでもLIFE関連加算のいわゆるサービス種別ごとの登録状況は都道府県別でお示ししていたところでございますが、加えて中身の部分ですね。LIFE加算の算定率ですとか、日常生活自立度、ADL、栄養等々、この辺りにつきましても状況について都道府県別でお示しすることを考えております。

次のページをお願いします。この資料はこれが最後になります。2024年度の第3回介護DBオープンデータは、年度内に公開していきたいと思っております。

2 点目、第4回以降に検討する検討課題としまして、匿名LIFE情報につきましては、現在13加算あるうちの1つですね。一番情報が集約されております科学的介護推進体制

加算という加算について様式に示されている情報を集計しているところなのですが、それ以外にも個別の栄養の情報ですとか、褥瘡の情報ですとか、そういったほかの様式もございますので、そこについても出したほうがよさそうなものがあれば、少し集計を検討していきたいと考えております。

2ポツ目、匿名介護レセプト等情報については、今回入れておりませんので、今後どういった集計をするとよさそうかも含めて御助言いただきながら、公表対象データを検討していきたいと考えているところです。

最後、集計単位の検討につきまして、保険者別や二次医療圏別について、NDBとの比較という意味で必要ではないかということをお願いしておりますので、この辺りも検討していきたいと考えている次第です。

本資料の御説明は以上になります。

○山本委員長 ありがとうございます。

ただいまの御説明に関しまして、質問、御意見がありましたらよろしくお願ひいたします。

今村先生、どうぞ。

○今村委員 今村です。

4ページの介護度の変化についての分析の方針で、5年後ということ、5年後だけに絞ることに違和感を覚えます。私としては、半年ごとぐらいで向こう5年間毎回出してもらうのが一番ありがたいのです。それは半年ぐらいペースを見れば変化そのものは見られるだろうということ、その変化を積分すれば、生命表と同じように将来推計ができるということ、半年ごとに毎年2017年から2021年ぐらいまで出していただけるとありがたいと。2017年から5年のデータは大変ありがたいのですけれども、出してもらえらばそれはそれでありがたいのですが、かなり客体が減ってしまうであろうことが予測されて、そこだけ出すとせっかく一番情報としてある部分が消えてしまうと思うので、5年後も出してほしいのですけれども、それよりも優先順位が高いのは、半年後の情報を時系列で半年ごとに出していただけると、今後の役に立つものになるかと思ひます。

最後の8ページに出てきたLIFEの今後の集計について、今、LIFEについての集計をしているのですけれども、ぜひ介護情報と掛け合わせたような分析はしてほしいと思ひます。特に施設類型で見たときにどのような変化があるかとか、LIFEにはFIMの情報もありますので、そういったこととほかの情報を掛け合わせるができるのがメリットだと

思いますので、そういった解析については考えてほしいと思います。

もう一つ、オープンデータと直接は関係がないのですが、今、京大でこの介護データの詳細を分析したデータブックを変数ごとに集計した結果がホームページ上に公表されているので、このオープンデータと併せてこの介護データの特徴として広く知っていただいたほうがよいかと思うので、そういった情報もありますということも並行して情報提供してもらえれば、より多くの人の役に立つのではないかと思います。

今村からは3点で、以上です。

○山本委員長 ありがとうございます。

事務局から何かございますか。

○事務局（長嶺） ありがとうございます。

1点目につきまして確認をさせていただきたいのですが、半年ごとというのは、例えば2017年の1月1日時点、7月1日時点、2018年の1月1日時点、7月1日時点という形で、半年ごとの要介護度をそれぞれクロスで表現するというイメージでしょうか。

○今村委員 そうですね。

○事務局（長嶺） そうすると、次の7月1日を表側にしたものはなくてよくて、各年度の1月1日が表側、表頭が7月1日みたいなイメージですか。

○今村委員 1月分があれば、その次の7月と1月と12月というような、半年ごとに変化を出してもらいたいイメージです。

○事務局（長嶺） 各自治体さんが御覧くださっている『見える化』システムなどと、既に予測推計できるような見せ方はさせていただいております。このオープンデータの位置づけをどうするかというところにはなるかと思うのですが、オープンデータそのものは、どちらかという第三者提供でデータを見ていただく方たちが、このデータの特徴を知っていただくというのを目標とするのかと思っておりますので、分析的な内容をどこまで見せるかというところは検討したいと思います。分析的な内容は、どちらかという第三者提供などで、コードブック等で見せていただくという方向性もあり得ると思います。

○今村委員 できるだけオーソライズされた公表データとして時系列の変化が読めるようにしたほうが分かりやすいと思います。1から3に行っている率がどんどん上がっているなどが分かるように、それは半年タームで1月、6月か、それで7月、12月という形で追いかけていってもらおうほうが、その変化率の変化を追いかけるのでありがた

いかと思います。

○事務局（長嶺） ほかの既に公表されているものとも見比べながら、少し検討を進めた
いと思います。ありがとうございます。

○今村委員 お願いします。

○山本委員長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

長嶺さん、今後のスケジュールですが、実際にオープンデータの作成にかかるのはいつ
のタイミングになるのですか。

○事務局（長嶺） ありがとうございます。

今、第2回を準備しているところになりますので、年度明けから、提供するデータの準備
の合間に第3回の集計の準備を進めていくことになろうかと思えます。

○山本委員長 年度明け、4月以降ということですね。

○事務局（長嶺） はい。令和6年度に入ってからになると思えます。

○山本委員長 分かりました。

それまでもう一回議論をするチャンスがあるのかな。もうないのかな。

○事務局（長嶺） 前回、前々回も確認をさせていただき、今回、今村先生からも宿題を
いただきましたので、どこかで入れられるようにさせていただきます。来年度は二次利用
関係の議題がかなり多いので、良いタイミングを検討いたします。

○山本委員長 分かりました。

○事務局（長嶺） 入れたほうがいいという意図ですね。

○山本委員長 もうその余裕がなかったら、取りあえず事務局にお任せしてもいいかとい
う気はしているのです。なかなか話題がたくさんで難しいような気がするのですね。

○事務局（長嶺） そうなのです。今、いただいた内容も第4回以降の検討事項とさせて
いただいて、今回は御提示させていただいた内容で進めさせていただくということで御了
承いただければ、次の年度では第4回に向けての議論のタイミング、来年の今ぐらいにな
ろうかと思えますが、御相談さしあげることにはしたいと思えます。

○山本委員長 今村先生、どうですか。次回の第4回以降でそれを考慮するというので。

○今村委員 第3回に間に合うのだったら、やれることではあると思えます。ただ、スケ
ジュールは事務局の総作業量に左右されるのだと思えますので、事務局の作業量とのてん
びんだというのは理解できます。

○山本委員長 分かりました。

御理解いただいたと思いますので、もし余裕があればということでお願いをいたします。もし余裕がなければ、定期的にオープンにしていくことも大事ですので、そのように計らっていただければと思います。

ほか、御意見はよろしいでしょうか。よろしゅうございますか。

(首肯する委員あり)

○山本委員長 それでは、この件はそういうことにしたいと思います。

では、あとは個別審査ですね。

事務局からアナウンスをお願いいたします。

○事務局（長嶺） 事務局でございます。

それでは、ここからは申出者の具体的な申請内容に基づきまして審査を行うことから、非公開とさせていただきます。YouTube上でのライブ配信はここまでとさせていただきます。

本会議のアーカイブ配信は行いませんので、議事内容については、後日公表される議事録を御確認ください。

本日は御視聴いただき、ありがとうございました。

それでは、ライブ配信の終了をお願いいたします。

(これ以降は非公開)

○事務局（長嶺） 臨時の合同委員会として日程調整をさせていただいている年明けの件につきましては、日程が確定次第、先生方に御連絡さしあげたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

次回の会議日程につきましては、追って御連絡をさせていただきます。

本日もどうもありがとうございました。

○山本委員長 それでは、以上をもちまして、第14回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会を終了いたします。

本日はありがとうございました。

(了)